

# 花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ園立ててく3

国立市立国立第七小学校

平成28年1月12日 NO.78 (278)



オー君 「あ！これは、<sup>がっこう にししょうこうぐちまえ</sup>学校の西昇降口前  
にあるサクラソウですね。」

花ちゃん 「<sup>ふゆやす</sup>冬休みの間に、<sup>おお</sup>ずいぶん大き  
くなりましたね。」

モンタ博士 「そうだね。写真にある白い紙は、  
1辺が1センチなんだ。それから、  
<sup>ちゅう なんかい みす</sup>冬休み中に、何回か水やりに  
<sup>き</sup>来たんだよ。また3学期が始まるで、みんなで『<sup>みす とうばん</sup>水やり当番』を<sup>ねが</sup>お願いしま  
すね。今度は何年生だったかな。」

花ちゃん 「<sup>こんしゅう</sup>今週から<sup>ねん くみ とうばん</sup>3年1組の当番になりました。」

オー君 「<sup>がっこうじゅう</sup>学校中のみんなで『<sup>みす とうばん</sup>水やり当番』をするんですね。きれいなかわいい<sup>はな さ</sup>花が咲  
くのがとても<sup>たの</sup>楽しみしですね。」

花ちゃん 「<sup>しゃしん</sup>写真のように、<sup>じゅんばん なら</sup>順番に並べると<sup>せいちょう</sup>成長している<sup>ようす</sup>様子がよくわかりますね。」

オー君 「<sup>はじめ</sup>始めは<sup>よわよわ</sup>弱々しく<sup>ちい</sup>小さかったけど、<sup>おお</sup>ずいぶん大きく<sup>りっぱ</sup>立派になりましたね。」

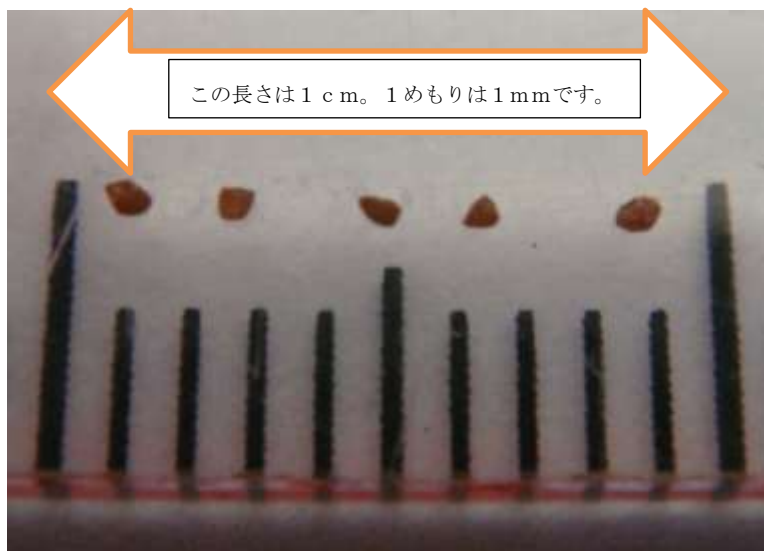
花ちゃん 「ところで、モンタ博士！サクラソウの<sup>たね</sup>種って、どんな<sup>たね</sup>種だったんですか。」

オー君 「<sup>み</sup>そういえば、見たことないね。アサガオやヒマワリは<sup>おも</sup>すぐに<sup>だ</sup>思い出すけど…。」



モンタ博士「アサガオはどのくらいの大きさだったかな。それから、ヒマワリは・・・？」  
オー君 「アサガオは5ミリくらい。ヒマワリは1.5センチ～2センチくらいだったね。」  
花ちゃん 「それから、レンゲソウは2ミリくらいで、菜の花は1.5ミリくらいだったわ。」  
モンタ博士「それでは、サクラソウはどのくらいかということ…。下の写真を見てごらん。」

オー君 「えーっと！右の写真  
の線は1センチかな、  
1ミリかな？」



モンタ博士「よく見てごらん。  
よく考えてごらん。」

花ちゃん 「わかった。線は1ミリ  
ということなんだわ。  
ということは・・・。」

オー君 「ということは、1ミリの線の幅を考えると、サクラソウの種の大きさは・・・。」

花ちゃん 「0.5ミリくらいということですか。」

モンタ博士「そのようになるね。」

オー君 「へえー！とってもちっちゃい種なんですね。」

モンタ博士「小さいことのたとえとして、『けし粒のように小さい』というけど、それ以上  
だね。サクラソウの種は本当に小さいんだね。」

花ちゃん 「こんな小さな種から、たくさんのきれいなサクラソウの花がさくなんて、  
本当に不思議ですね。」

モンタ博士「その通りだね。自然の世界には不思議なこと、わからないこと、おどろきい  
っぱいなことなど、いろいろとあるんだね。」

オー君 「よし！たくさんのお花を咲かせるために、『水やり当番』をしっかりとやろう。」

花ちゃん 「そうですね。2月19日にたくさんのお客さんが来る日がありますが、その  
日にきれいに咲かせましょう。また、3月25日の卒業式にもきれいに咲か  
せましょう。」